

屋久島の 魅力に迫る！

その25

— いち押しの果物：「たんかん」 —

屋久島の果物といえば「ぽんかん」と「たんかん」屋久島産のものはどちらも高級な果物で、全農業生産額の6～7割を占めるほどの基幹作物になっているようです。島民の人はどちらも普通に「みかん」と呼んでいるのですが、食べてみると本州のいわゆる温州ミカンとは全く違います。「ぽんかん」「たんかん」とともに味が濃厚で香り高く、美味しく甲乙つけがたいところですがどちらかといえば私は、屋久島代表＝「たんかん」！！



「ぽんかん」は明治時代に台湾から伝わったとされ、九州の鹿児島・熊本・大分、四国では愛媛・高知の各県でも栽培されています。独特の芳香があり、「たんかん」よりやや酸味がありさっぱり・爽やか系の味。収穫期は12月～1月。

一方、「たんかん」は「ぽんかん」と「ネーブルオレンジ」の自然交配で出来たとされていて、これも台湾から

明治末期に伝えられ、現在、屋久島と奄美大島など沖縄の島々で栽培されています。収穫期は「ぽんかん」より少し遅く2月～4月。

さて、こちらも特徴のある甘く強い香りで、皮をむいた後、その移り香が半日以上も手から離れないほど。味の方もゴツゴツとした外観とは逆にまろやかで果汁たっぷり、オレンジ系の濃厚な甘みで、一度食べたら忘れられない味！

だからいち押し！！



NATURE DESIGN

岡崎製材株式会社

代表取締役 八田欣也